

1- Présentation du CCIJF et de ses divisions sectorielles

1- CCIJF とその部門別部門のプレゼンテーション

CCIJF は、フランスと日本との経済・通商の発展、及び親善の促進に寄与することを目的として、1963年に設立され、今年で58年目を迎えています。

現在、フランスに拠点を持つ日本企業を中心とした約220社が正会員として登録しており、業種ごとに9つの分科会 (Secteurs) に分かれて所属しています。その内訳は、ほぼ半数が製造業、残り半数の内、約70社が、流通・小売・運輸・観光・その他サービス業、さらに残り約40社が、商社・貿易、金融、通信・情報、エネルギーなどです。

その運営は、正会員企業から選出された33名の理事、2名の会計検査役、事務局長、また、在仏日本国大使館の大使・公使・参事官など計40名で構成される理事会が執行します。

年間の活動は、9つの分科会とは別に、以下6つの委員会がそれぞれ様々な会合やイベントを企画し、開催しています。ビジネス環境整備委員会は、在仏日系企業がフランスにおいてビジネスを展開する上での課題や問題(労働・雇用環境、輸出入規制、金融・税制、及び社会保障、治安・安全、生活設営、等々)を抽出し、その解決に向けた活動を行っています。日仏交流支援委員会は、パリ=イル・ド・フランス商工会議所をはじめフランスの地方の商工会議所、地方政府等との交流を通して更なる日仏交流を推進します。知的交流委員会は、セミナーや講演会を企画、開催します。特にセミナーは各会員企業の要望に応じてフランスの税務、労務など実務情報を提供します。会員親睦委員会は、正会員並びにその家族の親睦を目的としたイベントを企画・開催します。広報委員会は、ホームページ、ニュースレター、実務レポートの掲載や発行により、CCIJF活動を広く内外に知らしめます。将来ビジョンを考える委員会は、CCIJFの運営の観点から中長期のビジョンについてシュミレーションや提案を行います。

ビジネス環境整備委員会 : Comité d'étude sur l'état de l'environnement des affaires

日仏交流支援委員会 : Comité pour le soutien aux échanges franco-japonais

知的交流委員会 : Comité des échanges intellectuels

会員親睦委員会 : Comité de l'amicale des membres

広報委員会 : Comité de la communication et de l'information

将来ビジョンを考える委員会 : Comité pour une vision prospective

2- Quelles sont vos missions ? Les services proposés ?

2-あなたの使命は何ですか？提供されるサービスは？

日仏両国の発展、特に経済・通商の分野から、交流・発展を促進することを第一に、また、日系企業一丸となったフランスにおける社会貢献活動への取組みや、日系企業の相互連携による日仏各界における交流の促進を使命としています。

CCIJFが提供するサービスの最も重要なポイントのひとつは、各企業の駐在員への情報提供やサポートです。

3- Comment qualifieriez vous les relations commerciales franco-japonaises ? Comment les intensifier plus avant ?

3-日仏貿易関係をどのように説明しますか？それらをさらに強化する方法は？

日本はアジアで最大の対仏投資国であり、フランスでの雇用数は74千人に上ります。雇用者数内訳では、トヨタの在仏工場やルノー-日産アライアンスに代表される自動車関連が約30%、IT、エレクトロニクス関連が約20%、食品・農業関係が約10%を占めるほか、機械、製薬、化粧品、化学素材、IT等、その裾野は非常に幅広いものになっています。

このように多くに実績が積み上がっていますが、今後の両国の協業を一層強化する為に、例えば、政府間では、2019年7月に「『特別なパートナーシップ』の下で両国間に新たな地平を開く日仏協力のロードマップ（2019～2023年）/ FEUILLE DE ROUTE SUR LA COOPERATION FRANCO-JAPONAISE POUR OUVRIR DE NOUVEAUX HORIZONS ENTRE LA FRANCE ET LE JAPON DANS LE CADRE DU PARTENARIAT D'EXCEPTION (2019-2023)」という合意文書が発表されています。また、日本とEU間では、日EU経済連携協定（EPA）も2018年に発効済で、このような礎となる合意や協定も意識しながら、今後の日仏関係を考えていく必要があると考えます。後にも触れますが、環境分野やデジタルトランスフォーメーション分野での協業が有望ではないかと考えます。

4- Quelles sont les problématiques que vous disent rencontrer les entreprises japonaises souhaitant développer une activité en France ?

4-フランスで活動を展開したいという日本企業からの問題は何ですか？

フランスで活動する日本企業の日本人駐在員の運転免許証の書換え（日本の免許証からフランスの免許証へ）の手続きが、ここ数年、非常に時間がかかっており、CCIIFとしても問題視しています。1年半も待たされたケースも少なくなく、駐在員にとっては業務上の大きな支障となる問題です。現在、在仏日本国大使館とともにフランス内務省に改善のお願いをしているところです。日仏経済の推進のために日々ビジネス活動に邁進している駐在員の扱いに、もう少し配慮をお願いしたいと思います。駐在員が働きにくい環境では、フランスへの投資拡大のチャンスを逃してしまうことになりかねません。

5- Quelles sont pour elles les opportunités d'investissement qui les intéressent en France ?

5-フランスで彼らに興味を持っている投資機会は何ですか？

従来から日本が得意とする自動車・機械等の分野に加えて、高付加価値の分野、例えば食品分野（オーガニック等）や消費財の製造・流通、更にはAI関連での投資等も目立ってきています。特にAIを含むデジタル分野は、両国が官民をあげて推進している分野でもあり、相互の技術協力により独創的な新サービスの創出がされることを期待しています。

また、環境分野にも注目すべきではないかと考えています。2050年のカーボンニュートラルを大目標とする欧州グリーンディールやフランスを始めとする各国のエネルギー転換の分野においても、日仏の協力が可能と考えています。再生エネルギーの発電分野に加え、脱炭素化の為のバリューチェーンを構築していくという観点で、両国間で様々な協業が行えると思います。

6- La coopération franco-japonaise vous paraît-elle être une alternative crédible à l'hégémonie croissante des Américains et des Chinois notamment dans la tech ?

6-日仏の協力は、特に技術において、アメリカとチャイナの成長する覇権への信頼できる代替手段であると思われませんか？

日仏の技術協力は世界をリードし、手本となり得るものであると確信します。それは、日仏両国が、高いレベルの技術・品質に依拠した「ものづくり」にプライドを持っていることなど、共通点がとても多いこと、また、信頼のおける協力相手や競争相手として互いに尊重し

合いながら切磋琢磨できる関係にあることで、さらに高いレベルの価値や製品を創出、開発することができるからです。そのことは、日仏企業の合弁事業や共同開発において、すでにいくつもの成功例によって明らかです。

このような取組みが、両国が標ぼうするグローバルイズムの強化にも貢献すると考えています。

7- Quelles sont, entre le Japon et la France, les grandes différences culturelles à connaître pour réussir de part et d'autre à faire des affaires ?

7-日本とフランスの間でビジネスを成功させるために知っておくべき、日本とフランスの主な文化的違いは何ですか？

何よりも、共通の価値観を持つ特別なパートナー関係であることを改めて確認したいと思います。日本とフランスは、それぞれの持ち味や得意とする点を尊重し合い、共鳴させることによって、これまでになく新しいものを生み出すことができる特別なパートナー関係だと思っています。このことは多くの在フランス日本企業で実証されていることであり、今後のさらなる展開や発展を確信しています。

日本では、現在、働き方改革を推進中です。長時間勤務の是正や多様な働き方を可能にすべく、官民が一体となって取り組んでいます。フランスでは、長期間にわたるバカンスを大切にしながらも、きちんと成果を上げるといった働き方があり、我々も大いに学ぶところがあります。